



2019年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

株式会社ジーニー
(東証マザーズ：6562)

2018年8月10日

1. 2019年3月期 第1四半期業績
2. 2019年3月期 業績見通しと取り組み
3. ご参考資料

1. 2019年3月期 第1 四半期業績



1-1. 2019年3月期 第1四半期決算ハイライト

グループ全体

- 売上高は全事業で前年同期比増加
- 人件費や技術開発に伴う先行投資費用が増加したものの営業黒字で着地
- 通期業績予想は変更なし

売上高 4,023百万円 (YoY 31.1%増)

営業利益 2百万円 (YoY 96.3%減)

アド・プラットフォーム事業

- 引き続き、大手メディアとの取り組みに注力

売上高 35.7億円 (YoY 30.7%増)

マーケティングオートメーション事業

- 6月にCRM/SFA「ちきゅう」を事業承継

売上高 2.5億円 (YoY 34.8%増)

海外事業

- インドネシアやベトナム拠点にて、現地有力企業との連携等を推進

売上高 2.5億円 (YoY 1.2%増)

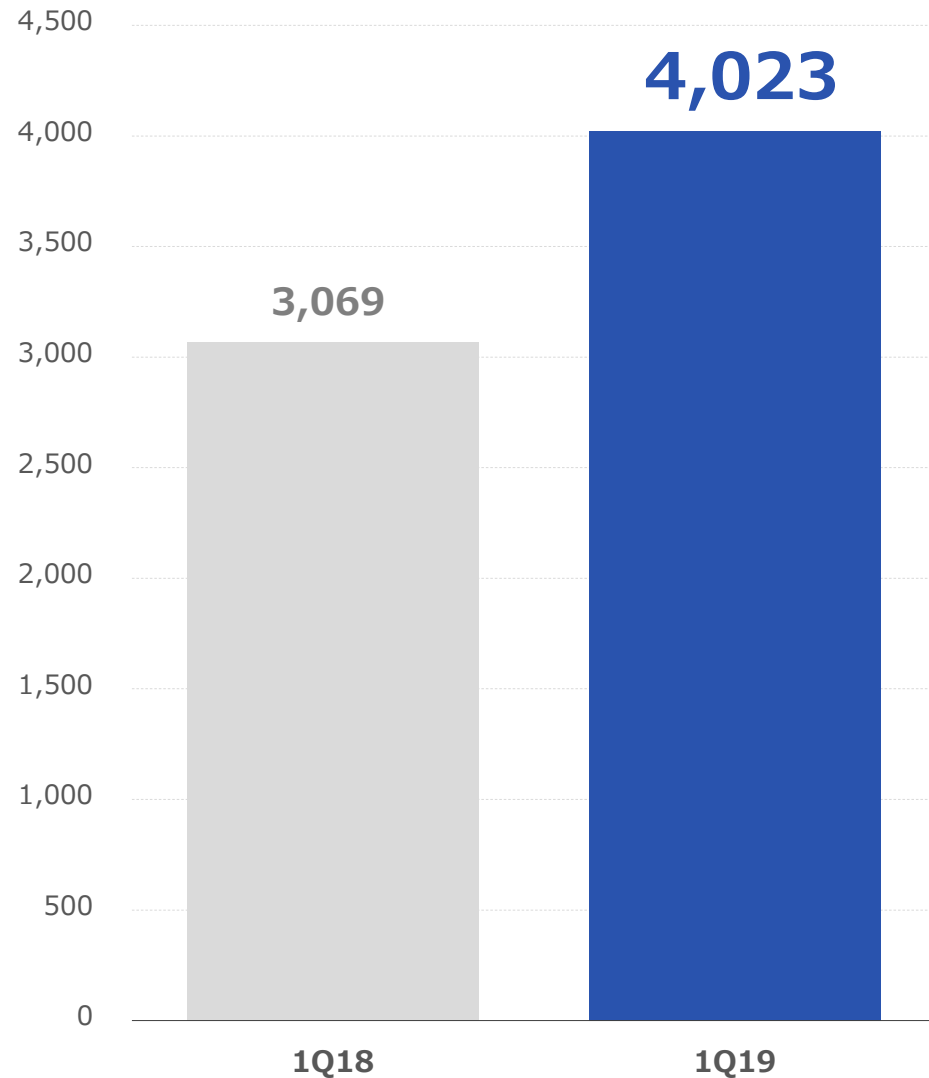
1-2. 2019年3月期 第1四半期業績

- 売上高は全事業で前年同期比増加
- 人件費や技術開発に伴う先行投資費用が増加

(単位：千円)	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	YoY
売上高	3,069,625	4,023,847	31.1%
売上総利益	519,950	576,571	10.9%
販売費及び 一般管理費	458,185	574,271	25.3%
営業利益	61,764	2,299	▲96.3%
経常利益	56,292	▲4,776	▲108.5%
当期純利益	29,587	11,918	▲59.7%
EBITDA	117,346	84,028	▲28.4%

1-3. 連結売上高の推移

(単位：百万円)



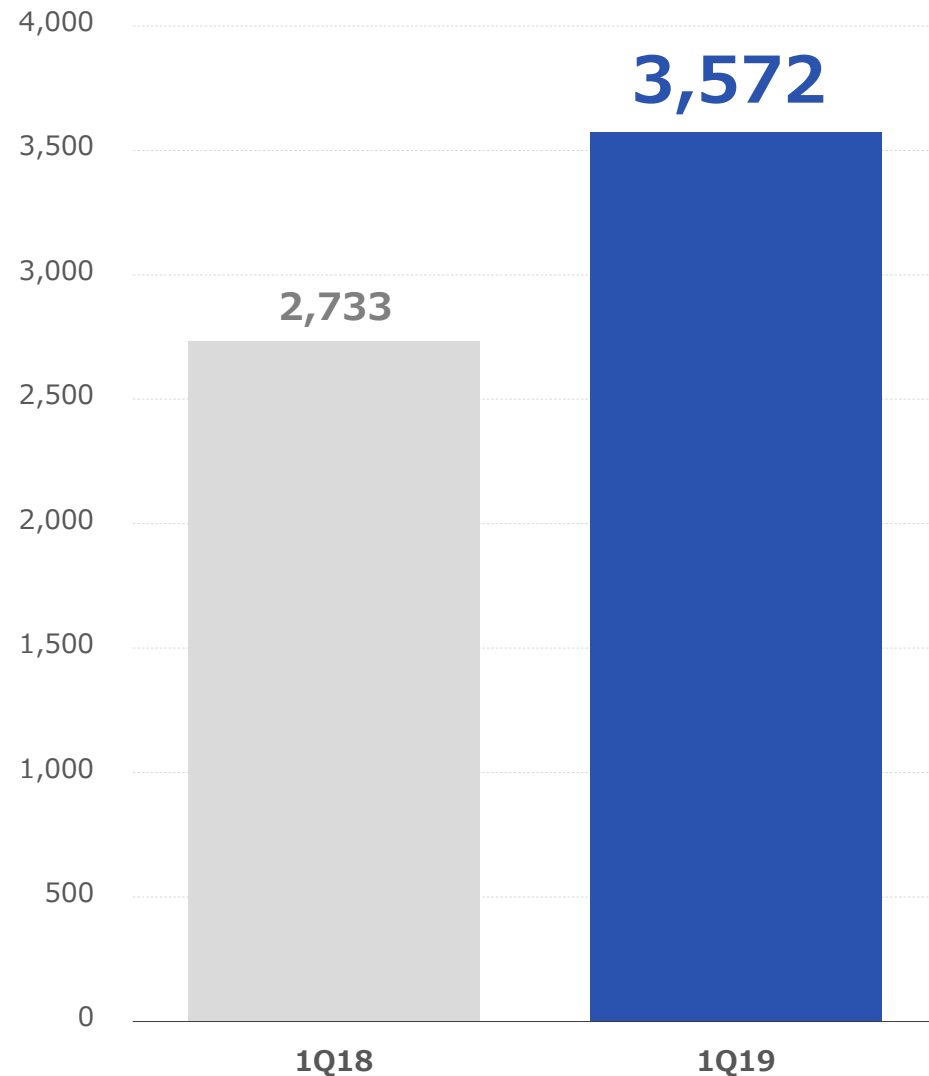
対前年増加率

31.1%

- 全事業で前年同期比増収
- 引き続き、市場成長を上回るペースで拡大
- 広告業界の季節性により、1Qは例年売上が伸びない傾向

1-4. 事業別売上高の推移—アド・プラットフォーム事業—

(単位：百万円)



対前年増加率

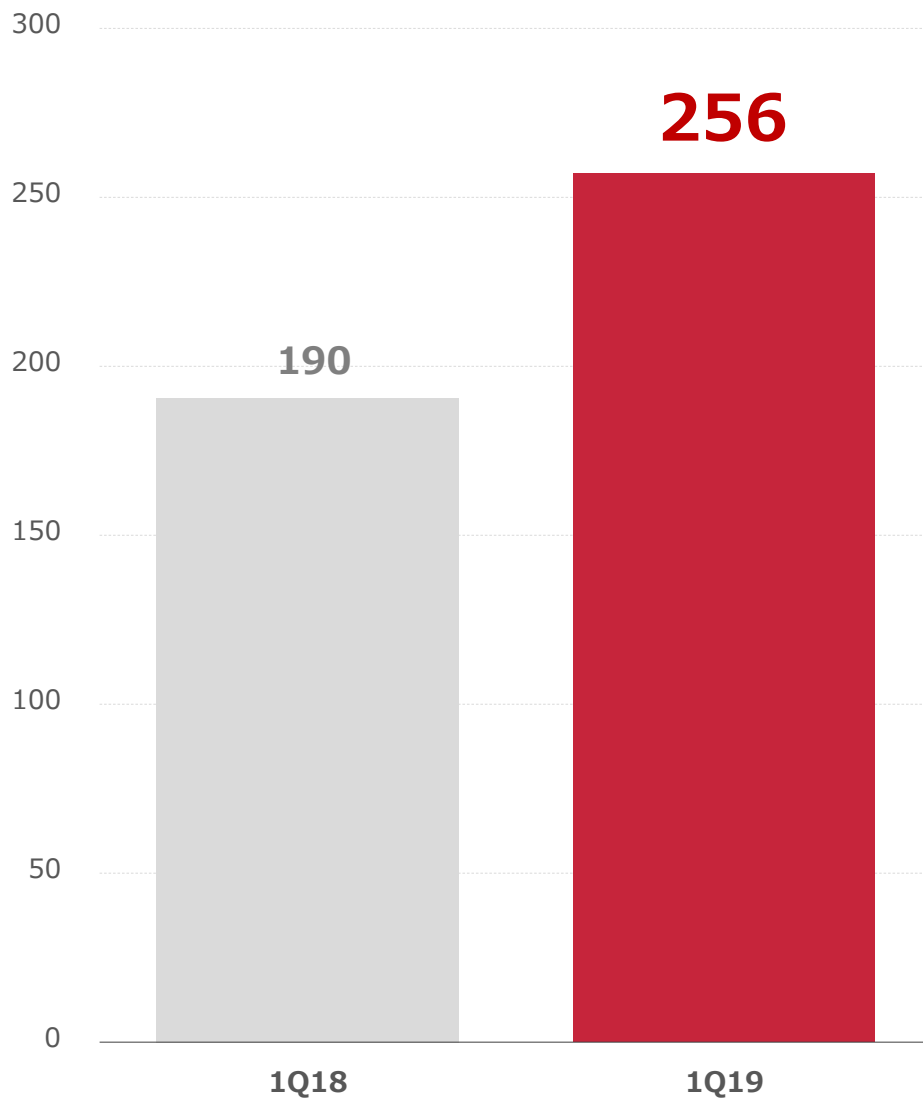
30.7%

- サプライサイドビジネス（Google Products + GenieeSSP）：
引き続き、大手メディアをはじめとした新規顧客の獲得やサポート等に注力
- デマンドサイドビジネス（GenieeDSP）：機能強化や代理店営業等に注力

※ 事業別売上高は、事業間取引等を調整前の数値です。

1-5. 事業別売上高の推移—マーケティングオートメーション事業—

(単位：百万円)



対前年増加率

34.8%

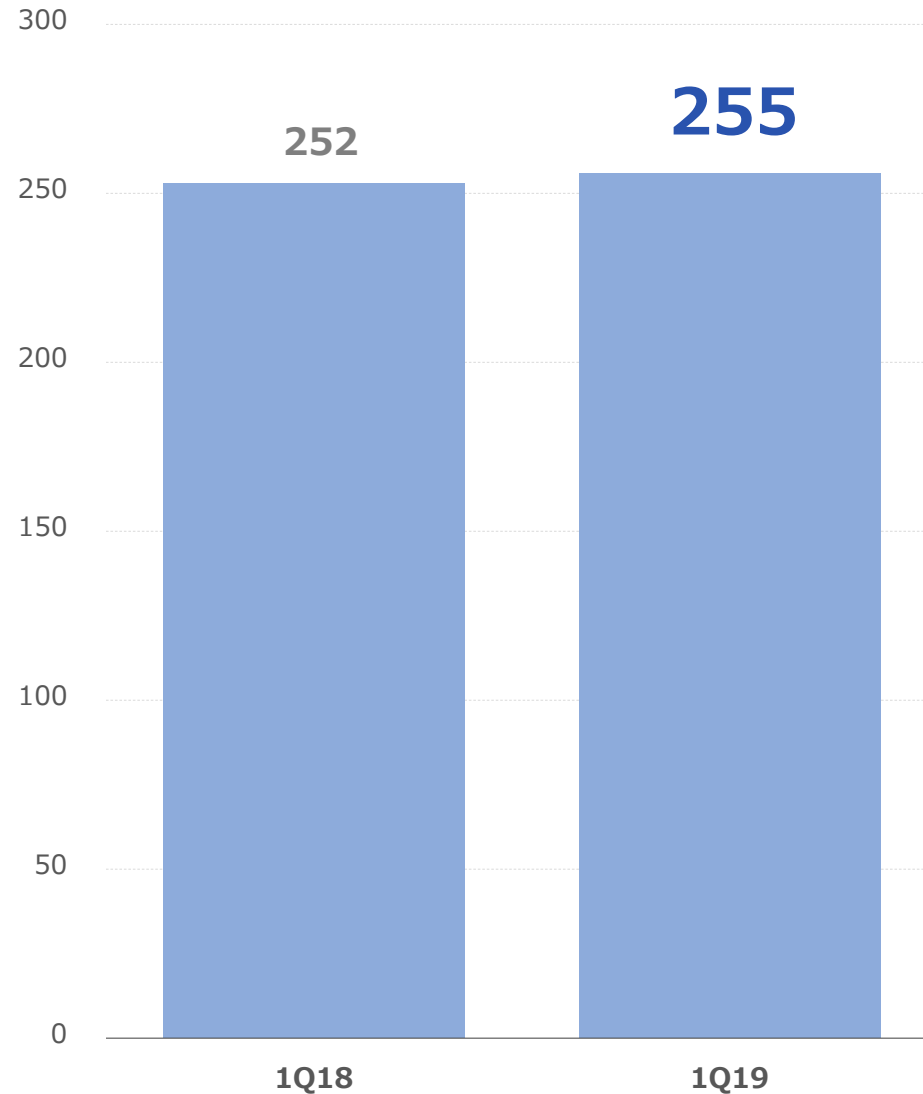
- 既存導入企業の利用促進や新規顧客開拓等に注力
- 累計アカウント数は6月末時点で約1,060社^注へ増加
- 6月にCRM/SFA「ちきゅう」を事業承継

注) MAJINとちきゅうの合計社数です。

※ 事業別売上高は、事業間取引等を調整前の数値です。

1-6. 事業別売上高の推移—海外事業—

(単位：百万円)



対前年増加率

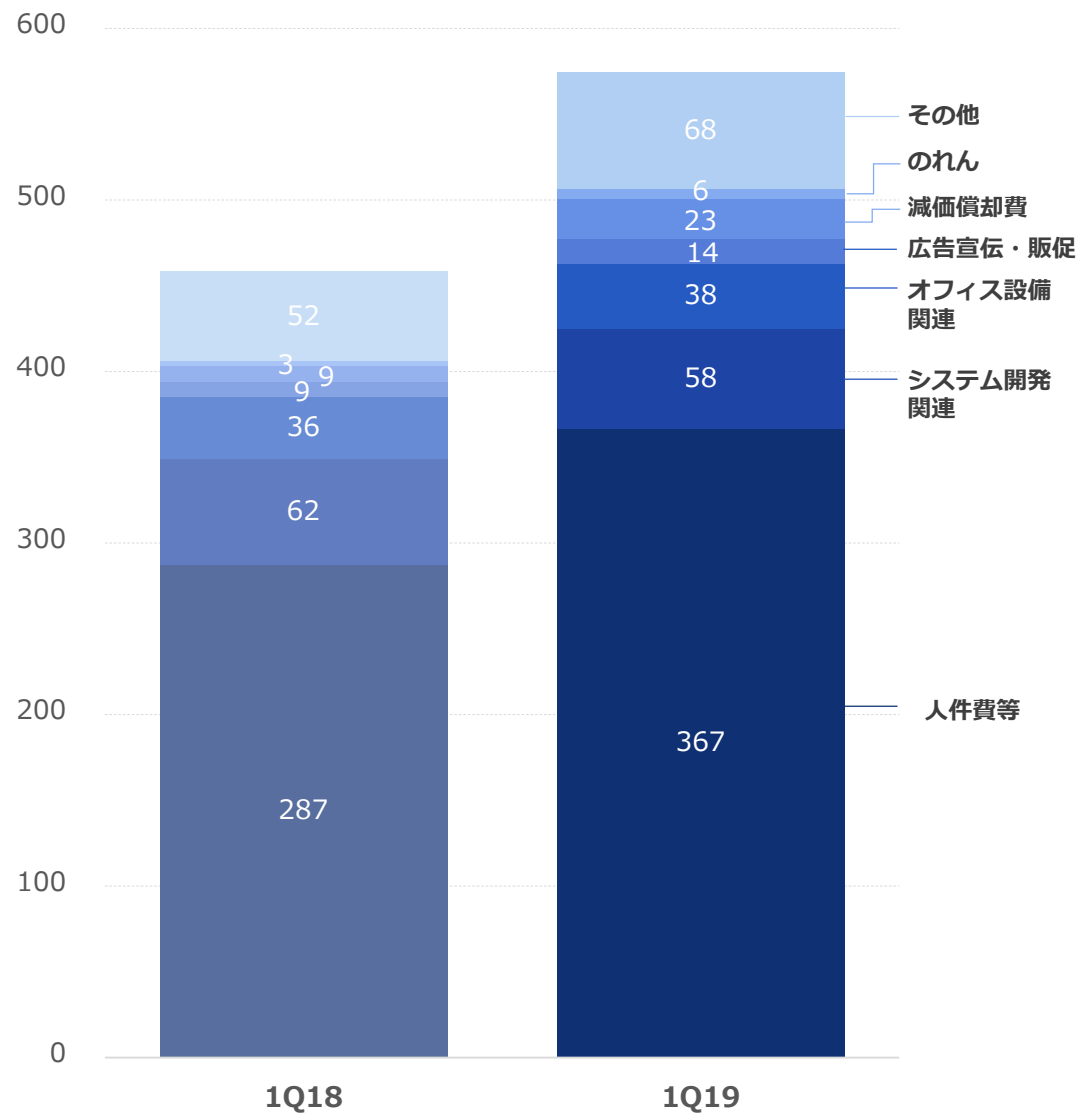
1.2%

- インドネシアやベトナム拠点：現地有力企業との連携強化や大型キャンペーン案件の受注
- タイ拠点：GenieeDSPにて現地ブランド広告案件の受注
- ソフトバンク社と連携したサービスの開発提供を推進

※ 事業別売上高は、事業間取引等を調整前の数値です。

1-7. 販売管理費の推移

(単位：百万円)



- 今後の事業拡大に向けた人材獲得や技術開発強化等による先行投資により、人件費等が増加

2. 2019年3月期 業績見通しと取り組み



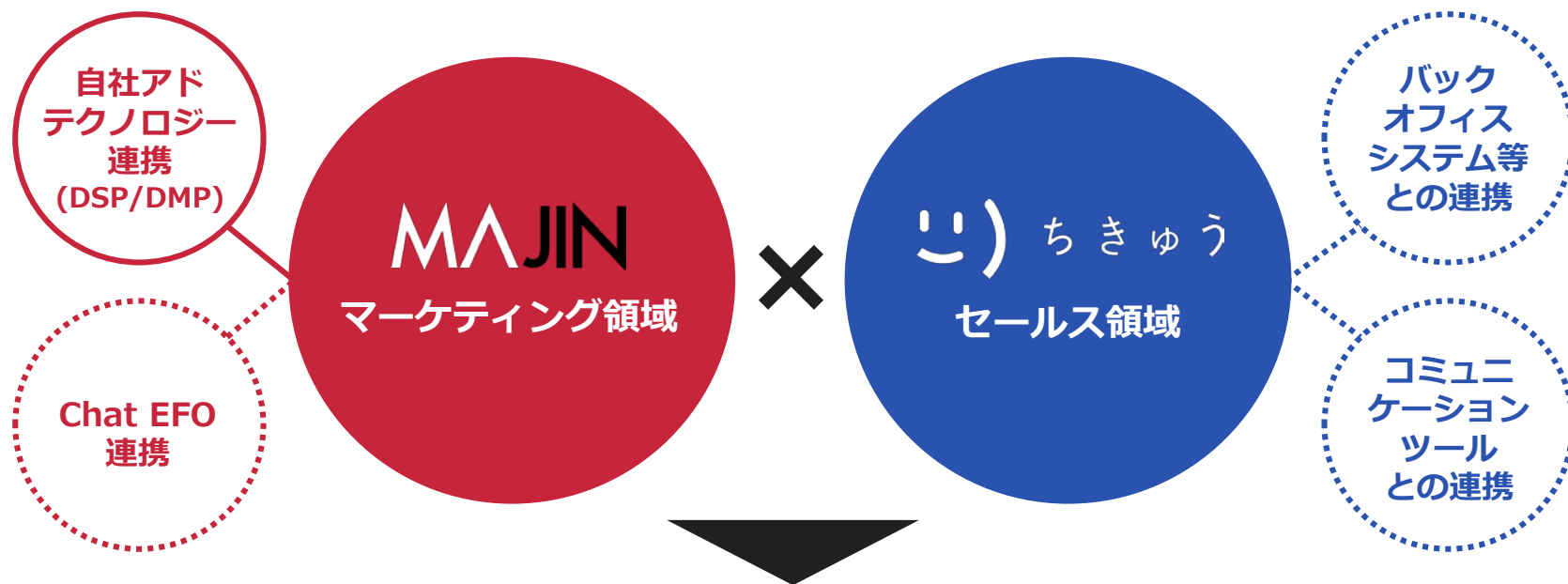
2-1. 2019年3月期業績予想（変更なし）

- 5月発表時より、通期業績予想に変更なし
- 売上、総利益、EBITDAの3指標を安定的にYoY30%成長させることを目指す

(単位：千円)	2017年3月期 (実績)	2018年3月期 (実績)	2019年3月期 (予想)	YoY
売上高	11,730,899	14,380,939	20,054,075	39.4%
売上総利益	1,758,826	2,457,453	3,304,968	34.5%
販売費及び 一般管理費	1,501,215	1,929,841	2,575,708	33.5%
営業利益	257,610	527,611	729,259	38.2%
経常利益	194,590	467,448	712,859	52.5%
当期純利益	△ 14,754	63,242	505,512	699.3%
EBITDA	457,798	783,546	1,135,757	45.0%

2-2. 最近の取り組み

- マーケティングオートメーション「MAJIN」、6月にCRM/SFA「ちきゅう」を事業承継、相互連携を推進
- 今後は集約されたデータの更なる活用に向けた機能追加や各種アップデートを実施



一気通貫したデータ活用・分析により企業の収益を最大化する
セールス&マーケティングプラットフォームへ

2-3. 最近の取り組み

- ソフトバンク社と共同で、市場規模が拡大するインバウンド(訪日外国人)や越境ECの集客を実現する広告配信サービスの提供開始

SoftBank GENIEE

GENIEE SSP

Tăng trưởng doanh thu bền vững

Sử dụng công nghệ Nhật Bản, GenieeSSP là nền tảng quảng cáo giúp Publisher chạm mục tiêu tối ưu doanh thu trên từng lượt hiển thị. GenieeSSP thành công khi đem lại mức tăng doanh thu bền vững với mỗi Publisher.

LEARN MORE

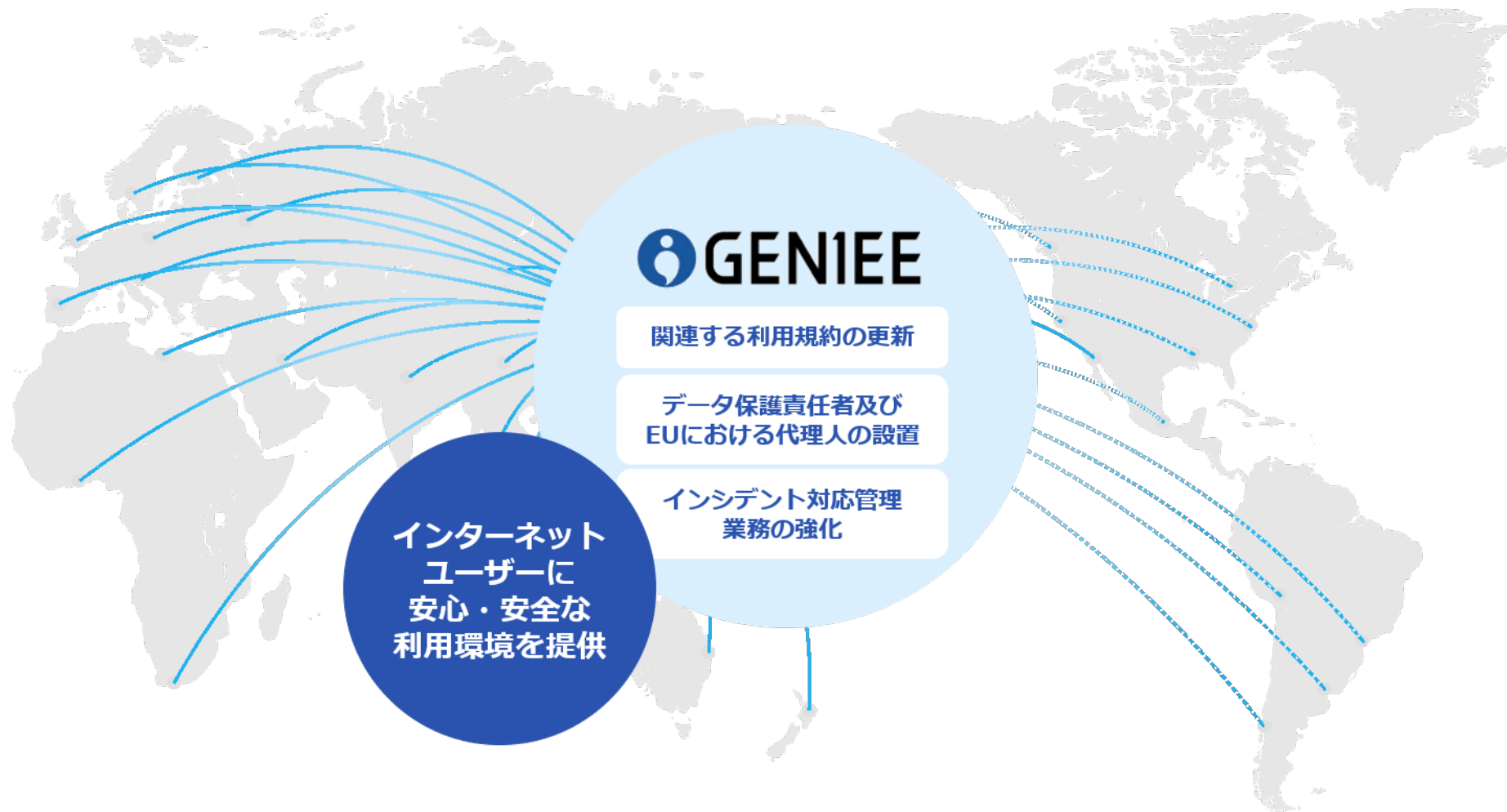
Coming Soon

Ad

大手スーパー・ドラッグストア、消費財メーカー等の広告を配信

2-4. 最近の取り組み

- 全プロダクトにてGDPR(EU一般データ保護規則)に対応、個人データ保護を強化
- 今後ともグローバルテクノロジー企業として、インターネットユーザーのデータやプライバシーに対する権利を保護すべく、体制・技術の両面から対応を推進



3. ご参考資料



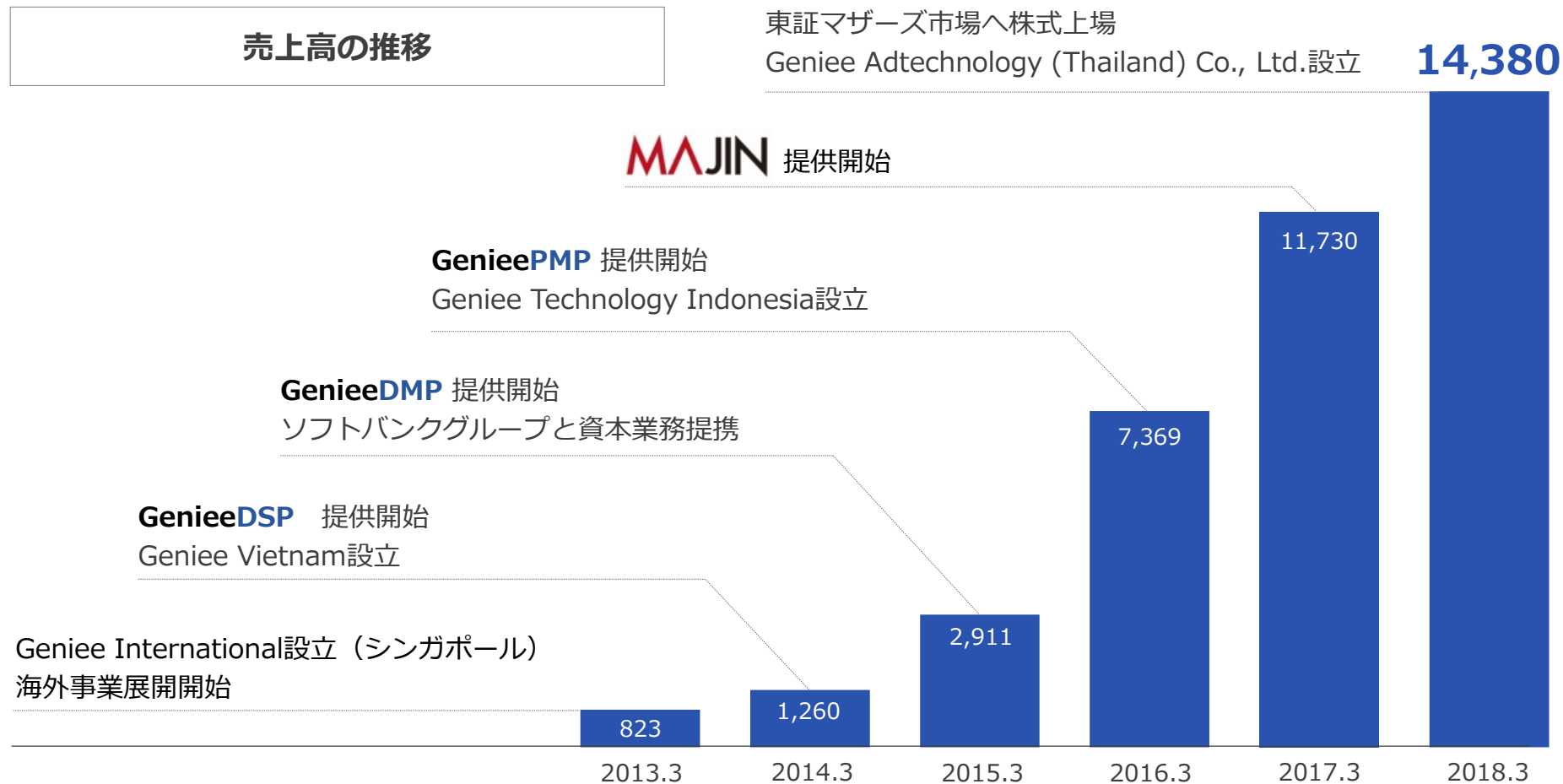
3-1. 貸借対照表

(単位：千円)

	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	YoY
流動資産	2,690,563	3,904,896	45.1%
固定資産	1,326,132	1,330,957	0.4%
資産合計	4,016,696	5,235,854	30.4%
流動負債	1,839,003	1,553,380	△ 15.5%
固定負債	527,837	431,680	△ 18.2%
負債合計	2,366,840	1,985,060	△ 16.1%
株主資本	1,635,670	3,236,343	97.9%
資本金	766,769	1,530,069	99.5%
純資産合計	1,649,855	3,250,793	97.0%

3-2. 沿革・売上高の推移

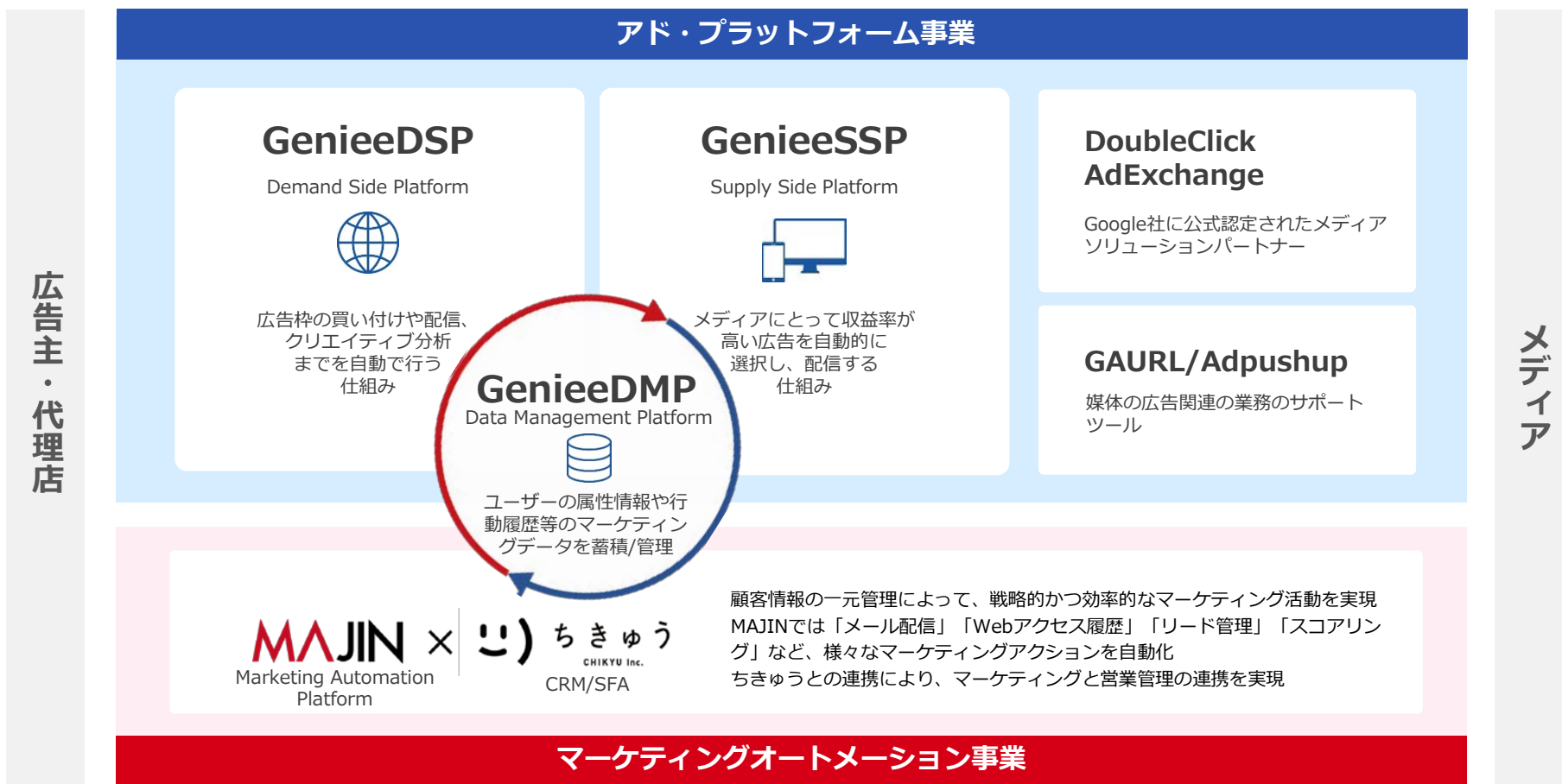
- 2010年4月設立。以来、事業領域と提供地域を拡大し、順調に売上高が増加
- 2016年3月期、主力事業「GenieeSSP」が国内トップクラスの規模へ



※ 2013.3～2015.3は単体売上高、2016.3～2018.3は連結売上高を表示、単位：百万円

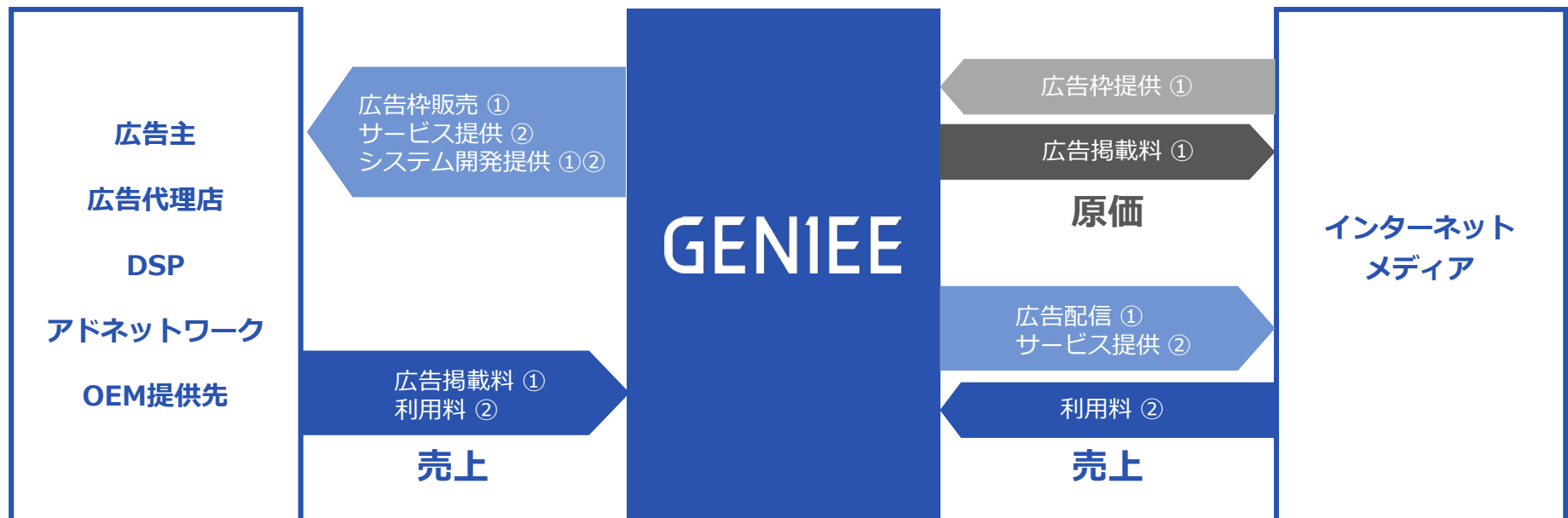
3-3. 事業内容

- メディアの広告枠を自動で売買するアド・プラットフォーム事業
- マーケティングのAI/自動化を行うマーケティングオートメーション事業では、マーケティングテクノロジーの新しい領域（CRM/SFA）に拡大



3-4. ビジネスモデル

- 収入は主に「広告掲載料」と「システム利用料」の2つ
- GenieeSSPやMAJIN、ちきゅう、OEM提供は、ユーザーの継続的利用が見込めるビジネスモデル



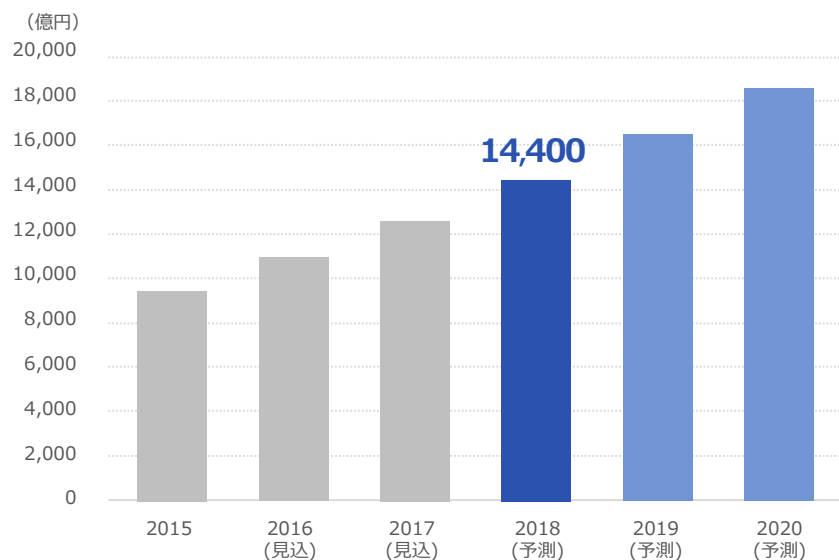
- ① 「GenieeSSP」や「GenieeDSP」経由で広告配信された際に広告表示回数等に応じて、広告主等からいただく広告掲載料
- ② 「GenieeDMP」や「MAJIN」や「ちきゅう」の利用企業から月額でいただくシステムやサービスの利用料

3-5. 国内の市場環境

- 国内市場は、引き続き年率10~20%の成長
- 2018年時点で、インターネット広告市場は1兆4,400億円、デジタルマーケティングツール市場は約450億円、CRM市場は約1,000億円

2018年 インターネット広告市場

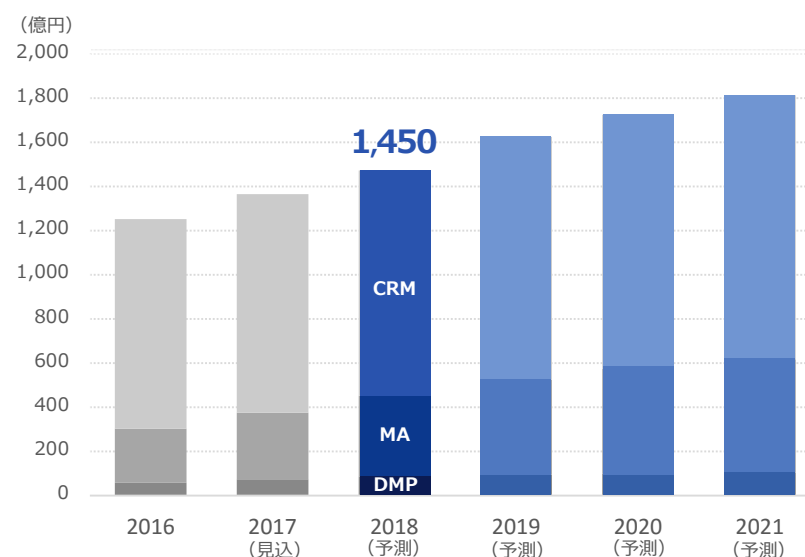
1兆4,400億円



(出所：矢野経済研究所「インターネット広告市場の実態と展望 2017年版」)

2018年 DMP,MA&CRM市場

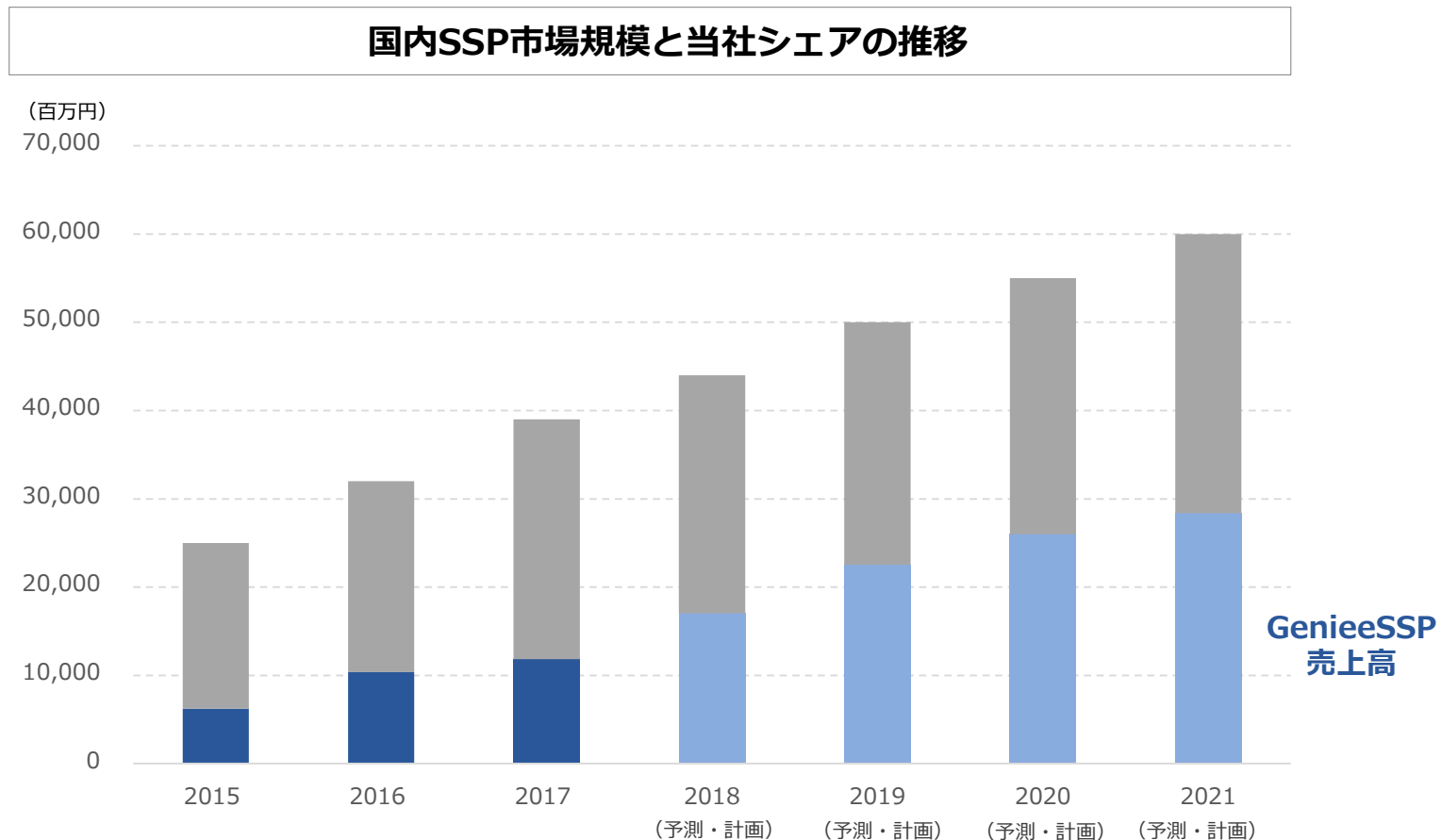
1,450億円



(出所：矢野経済研究所「DMP/MA市場へ急成長するデジタルマーケティングツールの現状とビジネス展望 2017年版」・IDC Japan「国内CRMアプリケーション市場 売上額予測、2016年~2021年」を元に当社作成)

3-6. 国内の市場環境

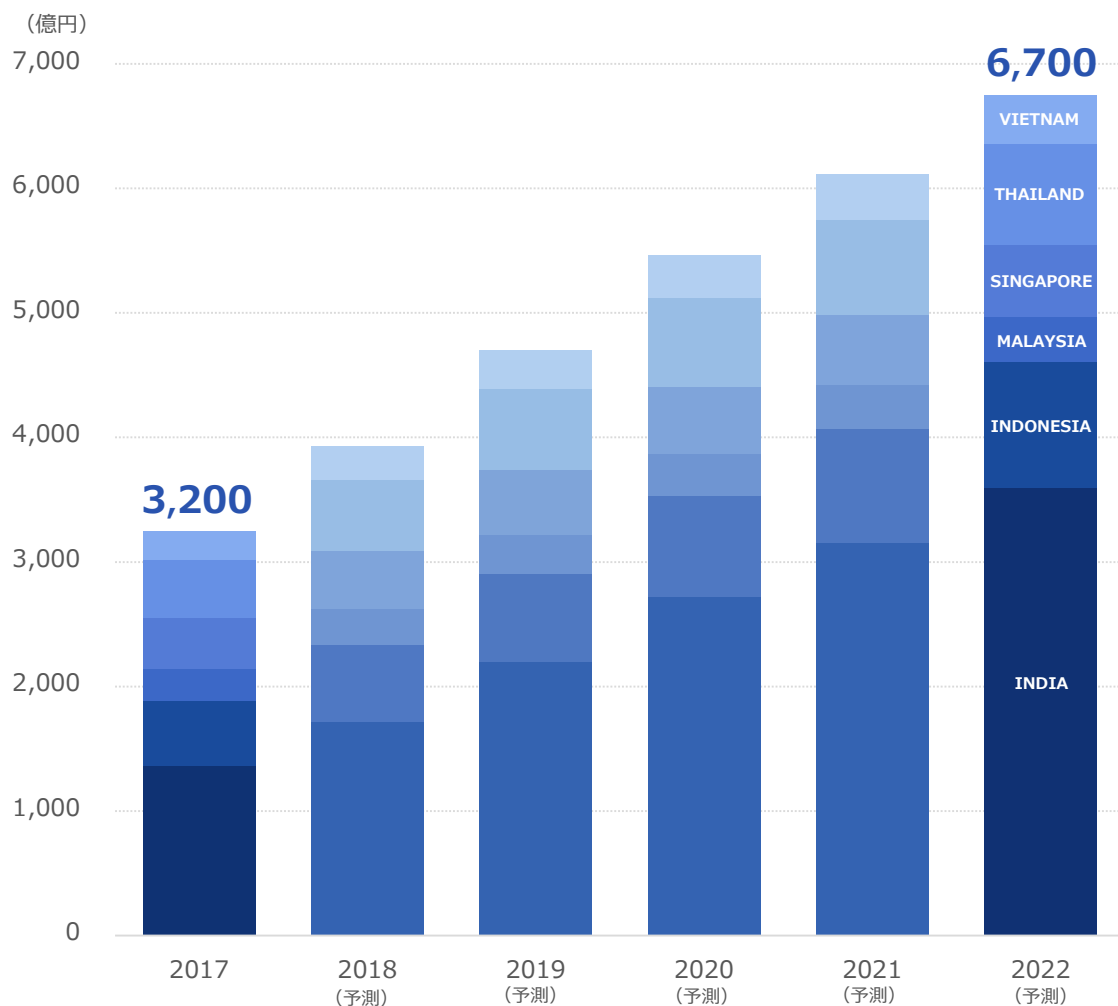
- GenieeSSPは、着実に市場シェアを拡大
- 2016年、国内SSP市場において30%近いシェアを獲得、国内No.1規模へ



・国内SSP市場データ 出所：ミック経済研究所「ネット広告関連市場の現状と展望（2018年版）」 ・当社SSP売上データ 2015～2017年度＝実績、2018年度～＝当社計画

3-7. 海外の市場環境

- インドネシア/インドを中心に、東南アジア/インド市場は大きく成長
- 2017年時点で3,200億円、2022年には6,700億円が見込まれる



アジアのインターネット広告市場

2017年

3,200億円

2022年

6,700億円

※「eMarketer」データを元に当社作成

3-8. 会社概要（2018年6月末現在）

社名	株式会社ジーニー（Geniee, Inc.）	従業員数※	309名 国内：222名 海外：87名
事業内容	アド・プラットフォーム事業 マーケティングオートメーション事業		
所在地	東京都新宿区西新宿7-20-1 住友不動産西新宿ビル25F	資本金	1,530百万円
設立年月日	2010年4月14日	決算期	3月
代表者	代表取締役社長 工藤 智昭		
役員	<p>取締役 廣瀬 寛 仁木 勝雅（社外） 藤平 大輔（社外） 那珂 通雅（社外、独立役員）</p> <p>取締役（監査等委員） 鳥谷 克幸（常勤・社外、独立役員） 轟 幸夫（社外、独立役員） 後藤 文明（社外、独立役員）</p>	グループ会社	<p>Geniee International Pte., Ltd.（シンガポール） Geniee Vietnam Co., Ltd.（ベトナム） PT. Geniee Technology Indonesia（インドネシア） Geniee Adtechnology (Thailand) Co., Ltd.（タイ） PT. Adstars Media Pariwara（インドネシア）</p>

※ 役員・派遣社員・業務委託の人数も含む。

創業の志

日本発の 世界的なテクノロジー企業をつくる

ミッション

テクノロジーで新しい価値を創造し クライアントの成功を共に創る

私たちはテクノロジーの可能性を信じています。

企業のマーケティング活動に、新たな価値を提供し、革新をもたらすプロダクトを創ります。

日本発のテクノロジーカンパニーとして、アジアの企業のビジネスを深く理解し、プロダクトとサービスに反映させ、アジアの企業と共に成功を目指します。

3-10. 直近のプレスリリース

• 2018年4月以降に発表したニュース・トピックス

日付	ニュース・トピック タイトル
2018.06.20	マーケティングオートメーション「MAJIN」× CRM/SFA「ちきゅう」、『Web販促EXPO 夏』に出展
2018.05.31	コラボスとジーニー、「キャリアコネ転職」でデジタルマーケティングプラットフォームの実証実験を開始
2018.05.25	ストックオプション（新株予約権）の発行に関するお知らせ
2018.05.25	取締役の報酬額設定に関するお知らせ
2018.05.25	監査等委員会設置会社への移行後の役員人事に関するお知らせ
2018.05.25	定款の一部変更に関するお知らせ（定時株主総会付議議案）
2018.05.21	ジーニー、EU一般データ保護規則(GDPR)に対応し個人データ保護を強化
2018.05.17	ジーニー、アプリ内広告配信ロジックの強化でアプリ開発者の広告収益を平均26%向上
2018.05.11	監査等委員会設置会社への移行に関するお知らせ
2018.04.26	マーケティングオートメーションMAJIN、『Web&デジタル マーケティング EXPO 春』に出展
2018.04.25	ちきゅう株式会社との会社分割（簡易吸収分割）契約による事業承継に関するお知らせ
2018.04.17	政府が発表した海賊版サイトへの対応に関するお知らせ
2018.04.02	組織変更のお知らせ



将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。